

令和7年度沖縄観光コンテンツ開発支援事業補助事業 実施計画書記載要領

※実施計画については下記を参考として簡潔に整理の上作成すること（A4縦置き10p以内）

1. 事業概要

○取り組む事業の概要について、下記の観点を盛り込み簡潔に記載することとし、必要に応じて図表等を使用しても構わないが分かり易く整理のこと。

《盛り込む必要がある事項》

- ・ 取組みの背景（経緯など）
- ・ 開発するコンテンツ等の特徴（活用する資源、地域、取組みの新規性など）
※活用する資源：沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化、芸能等）
- ・ 事業を進める上での課題点
- ・ 沖縄の観光課題解決への寄与
※沖縄の観光課題：観光消費額の向上、滞在日数の延伸、付加価値の向上、閑散期対策等

2. 実施内容

本事業で実施する具体的な内容について、下記項目ごとに記載すること。

(1) 実施地域

(2) 実施時期

○事業スケジュール（別記様式1-3）を踏まえて記載すること。

《例》令和7年8月～令和8年1月

○複数年の取組（本事業への応募を予定する範囲）の場合は想定年度も記載すること。

《例》

令和7年度：令和7年8月～令和8年1月（コンテンツ開発・検証）

令和8年度：令和8年5月～令和9年1月（開発コンテンツのブラッシュアップ）

令和9年度：令和9年5月～令和10年1月（商品完成、市場投入）

(3) 磨き上げる（活用する）資源

○沖縄らしさを有する資源の活用について記載し、その資源をどのように磨き上げる（活用する）のか記載すること。

(4) 想定ターゲット

○ターゲット設定とその理由について記載すること。

(5) ビジネスモデル

○想定する市場、販売方法、事業規模等について記載すること。

(6) 実施事業内容

○本事業を活用して実際に取り組む事業について記載すること。

○複数年の取組（本事業への応募を予定する範囲）の場合は、各年度ごとに整理し記載すること。

○積算書（別記様式 1-1）の事業費の項目と対照できるように整理すること。

《例》下記は記載例であり、これに準じる必要なく実施する事業を整理の上記載のこと

【令和 6 年度】

■〇〇コンテンツの開発

- ・ 専門家の招聘（時期、想定対象、内容等）
- ・ 視察（時期、方法、規模、内容等）

■〇〇イベントの開催

- ・ 開催時期、場所、規模、集客方法等

■受け入れ環境（体制）の構築

- ・ 連携先の構成、会議等の開催（回数、場所、時期、人数等）

■開発プログラムの検証（実証ツアーの実施）

- ・ 実施時期、場所、方法、規模等

■情報発信（開発コンテンツのプロモーション）

- ・ 実施時期、方法、規模等

■アンケート調査の実施

※本項目は必須項目なので必ず記載すること。

- ・ 実施時期、対象、方法、規模、内容等

(7) 事業費

○総事業費、補助金額に分けて記載（単位は千円）。

○複数年の取組（本事業への応募を予定する範囲）の場合は、各年度ごとに整理し記載すること。

3. 事業の目標等

(1) 目標

○定量、定性に分けて記載。

○複数年の取組（本事業への応募を予定する範囲）の場合は、各年度ごとに整理し記載すること。

《例》 定量目標

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
誘客数(国内)	000 名(00 組)	000 名(00 組)	000 名(00 組)
誘客数(海外)	000 名(00 組)	000 名(00 組)	000 名(00 組)
売上額	00000000 円	00000000 円	00000000 円

(2) 事業の効果

○沖縄観光の課題解決にどのように資するのか、具体的に記載すること。

(3) 実現のための課題

○事業を推進するにあたっての課題と課題に対処するための手法、取り組みについて記載すること。

※2年目、3年目の事業者は、過年度の取組と課題を記載。(前年度と同様の取組のみは認められません)

(4) 事業の継続に向けた取り組み

○事業を継続するうえで、自治体、観光協会等の関係者との連携について具体的に記載すること。

○自走化に向けてどのような工夫をするのか具体的に記載すること。

4. 実施体制

○実施体制について、それぞれの役割を含め記載すること。

※実施体制図を添付のこと。

補足：採択要件に係る留意事項

○沖縄観光の課題解決に寄与する取り組みとなっているか。

○補助事業終了後の自走化に向けた具体的な内容となっているか。

○事業を検証する取り組みが明確になっているか。